

News Release

2017年7月5日
株式会社野村総合研究所

国内 100 都市を対象に成長可能性をランキング ～産業創発力が総合的に高いのは東京 23 区、福岡市、京都市 今後の伸びしろが大きいのは福岡市、鹿児島市、つくば市～

株式会社野村総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:此本 臣吾、以下「NRI」)は、都市圏の人口規模等を考慮して選定した国内 100 都市を対象に、今後の成長性を左右する「産業創発力」の現状、および将来のポテンシャルを分析した「成長可能性都市ランキング」を作成しました。

この調査では、都市の産業創発力を、「多様性を受け入れる風土」「創業・イノベーションを促す取り組み」「多様な産業が根付く基盤」「人材の充実・多様性」「都市の暮らしやすさ」「都市の魅力」という 6 つの視点から、131 の指標を用いて総合的に分析しています。

結果として、実績および将来のポテンシャルを含めた総合的な産業創発力が高いのは、上から順に、東京 23 区、福岡市、京都市(図 1)、実績とポテンシャルの差分で見た“伸びしろ”が大きいのは、福岡市、鹿児島市、つくば市(図 2)でした。図 2 に示す都市は、今後わが国において自立して世界から外貨を獲得し、地域経済を牽引する“ローカルハブ”になる可能性を秘めた「成長可能性都市」であると考えています。

この他、産業創発力を構成する 6 つの視点別のランキングや、人々が志向する多様なライフスタイル(「移住者にやさしく適度に自然がある環境で働く」「リタイア世代が余生を楽しみながら仕事ができる」「子育てしながら働ける環境がある」「起業スピリッツがあり、スモールビジネスにも適している」)に応じたランキングも作成しています(表 1、表 2)。いずれかのランキングでトップ 10 に入る都市は合計 40 都市ありますが、福岡市は 12 のランキングの全てで 10 位以内に入る結果となりました(図 3)。

日本には三大都市圏のみならず、地方部にもさまざまな強みを備え、成長のポテンシャルの高い都市が多数あります。各都市が、限られた国内市場を奪い合うのではなく、自らの強みを生かし、世界と結びついていくことで、日本全体として成長していくことが期待されます。

図1：総合ランキングでみた成長可能性の高い上位都市

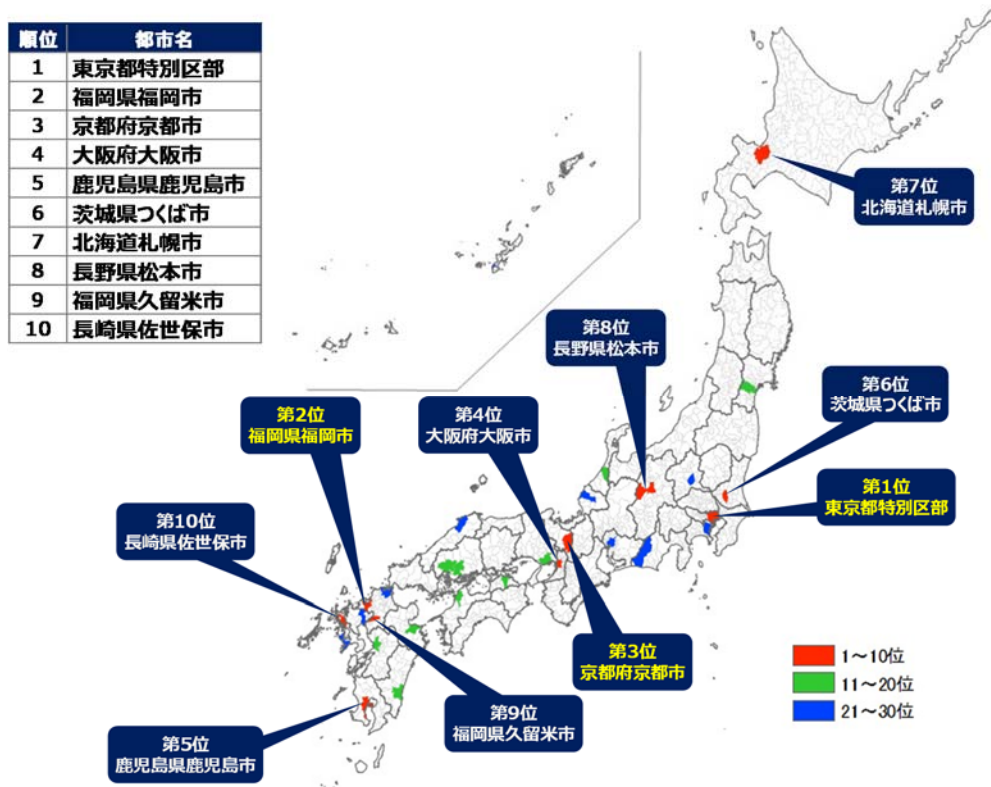


図2：ポテンシャルランキングでみた成長可能性の高い上位都市

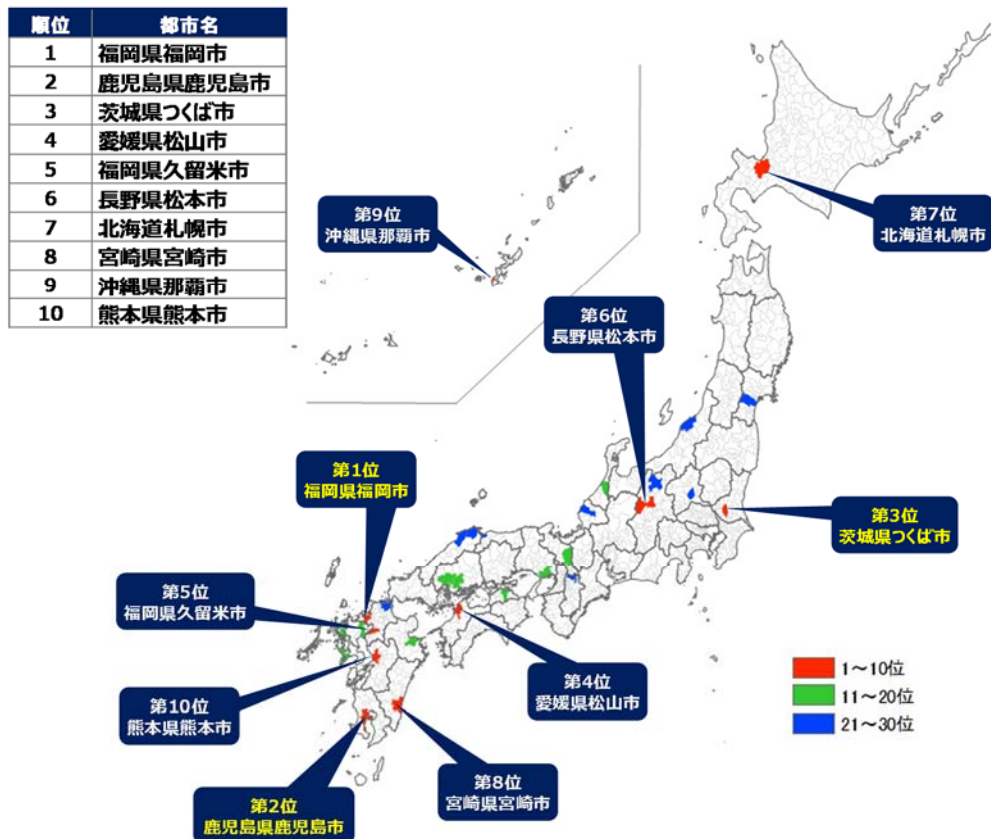


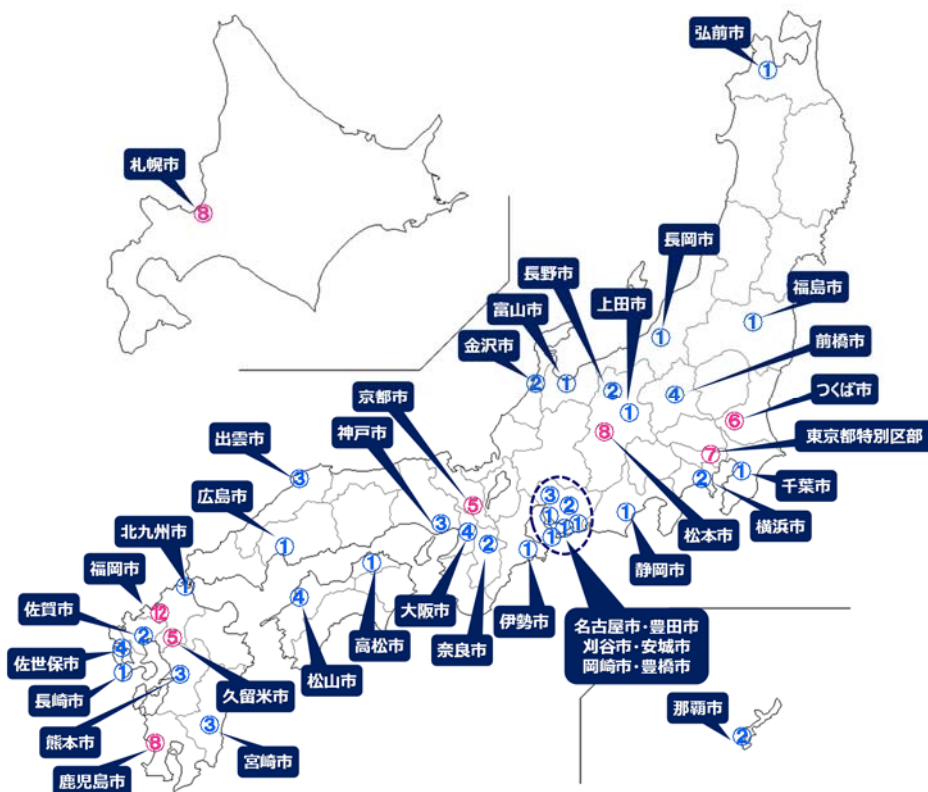
表1：評価視点別にみたランキング

	第1位	第2位	第3位
多様性を受け入れる風土	東京都特別区部	札幌市	佐世保市
創業・イノベーションを促す取組	東京都特別区部	大阪市	福岡市
多様な産業が根付く基盤	東京都特別区部	大阪市	豊田市
人材の充実・多様性	東京都特別区部	京都市	千葉市
都市の暮らしやすさ	佐賀市	奈良市	富山市
都市の魅力	福岡市	鹿児島市	京都市

表2：ライフスタイル別にみたランキング

	第1位	第2位	第3位
移住者にやさしく適度に自然がある環境で働く	鹿児島市	松本市	宮崎市
リタイア世代が余生を楽しみながら仕事ができる	鹿児島市	福岡市	松山市
子育てしながら働ける環境がある	松本市	前橋市	佐賀市
起業スピリッツがあり、スモールビジネスに適している	東京都特別区部	つくば市	福岡市

図3：12あるランキングのいずれかで10位以内に入った都市



* 数字は、各都市が10位以内に入ったランキングの数を示します（5つ以上は赤、4つ以下は青で表示）。

【ニュースリリースに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 坂、水谷

TEL : 03-5877-7100 E-mail : kouhou@nri.co.jp

【本調査の担当】

株式会社野村総合研究所 社会システムコンサルティング部 小林

グローバルインフラコンサルティング部 波利摩